

京都大学 1975年 入学試験 理系数学 問題6

問題

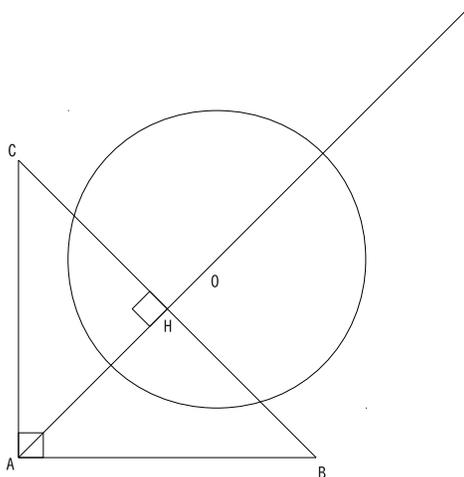
$\triangle ABC$ で $\angle A = 90^\circ$, $\overline{AB} = \overline{AC} = 2$ とする. 頂点 A から斜辺 BC に垂線 AH をひく (H はその交点). 半直線 AH 上に中心 O をもつ半径 1 の円を考える.

- $\triangle ABC$ の3つの辺が円 O の周とそれぞれ2点で交わるのは, $\overline{AO} = x$ がどのような範囲にあるときか.
- $\triangle ABC$ と円 O の内部の共通部分の面積を S とする. x が (1) の範囲にあるとき, S をつぎの関数 $F(t)$ を用いて表わせ.

$$F(t) = 2 \int_t^1 \sqrt{1-u^2} du \quad (0 \leq t \leq 1)$$

- x は (1) の範囲にあるとする. $\frac{dS}{dx}$ を求め, S を最大にする x の値を求めよ.

解答



- AH は BC への垂線で、円の中心 O が AH 上にあるので、 H と O の距離が半径より大きい時円は BC と交点を持たない。

また、 H と O の距離が半径に等しい時は、 H で接するので、2点で交わらない。

したがって、2点で交わるためには、 H と O の距離が円の半径未満であることが必要。

また、線分 BC は $2\sqrt{2}$ の長さがあり中点の垂線上を中心が移動するので BC と円の交点が BC の外側にできることはない、よって十分

$\triangle ABC$ は A を直角とする直角二等辺三角形なので、 AH は BC の中点で、 AH の距離は $\sqrt{2}$

以上より AO を x で表すので、この条件は、 $|\sqrt{2} - x| < 1$ となり、

$$-1 + \sqrt{2} < x < 1 + \sqrt{2}$$

円と AB についても同様に、 O から AB に垂線をおろし、その交点を J とすると、 O から J の距離が半径未満であればよい。

OJ の距離は $\frac{x}{\sqrt{2}}$ で表せるのでこの条件は $\frac{x}{\sqrt{2}} < 1$ つまり $x < \sqrt{2}$ となる。

しかし、 $x < 1$ の場合 AB との交点が AB の範囲から出てしまうので、 $x \geq 1$ が必要

円と AC との関係については AH に対して対称なので、条件は同じ。

$$1 \leq x < \sqrt{2}$$

以上の条件をあわせて $\sqrt{2} - 1 < 1, 1 + \sqrt{2} > \sqrt{2}$ なので、

$$1 \leq x < \sqrt{2}$$

2. $F(t)$ は原点を中心とした半径 1 の円の $t < x < 1$ の範囲の面積を表す

S は半径 1 の円から AB, BC, AC の 3 辺の外側の面積を引いたものなので、

BC によって切られた外側の面積は OH の距離を t としたときの $F(t)$ の値となり、AB によって切られた外側の面積は OJ の距離を t とした時の $F(t)$ の値となる。OH の距離は $\sqrt{2} - x$, OJ の距離は $\frac{x}{\sqrt{2}}$ 、半径 1 の円の面積は π なので

$$S = \pi - (F(\sqrt{2} - x) + 2F(\frac{x}{\sqrt{2}}))$$

3. $F(t)$ を置き換えて、微分すると

$$\begin{aligned} \frac{dS}{dx} &= \frac{d}{dx} (\pi - (2 \int_{\sqrt{2}-x}^1 \sqrt{1-u^2} du + 4 \int_{\frac{x}{\sqrt{2}}}^1 \sqrt{1-u^2} du)) \\ &= \frac{d}{dx} \pi - 2 \frac{d}{dx} \int_{\sqrt{2}-x}^1 \sqrt{1-u^2} du - 4 \frac{d}{dx} \int_{\frac{x}{\sqrt{2}}}^1 \sqrt{1-u^2} du \\ &= -2\sqrt{1-(\sqrt{2}-x)^2} + 2\sqrt{2}\sqrt{1-(\frac{x}{\sqrt{2}})^2} \end{aligned}$$

となる。 x が 1 から $\sqrt{2}$ まで変化すると、 $\sqrt{2} - x$ は減少し $1 - (\sqrt{2} - x)^2$ は増加する。したがって $-2\sqrt{1-(\sqrt{2}-x)^2}$ は減少する。

同様に $(\frac{x}{\sqrt{2}})^2$ は増加し $2\sqrt{2}\sqrt{1-(\frac{x}{\sqrt{2}})^2}$ は減少する。

したがって、 $\frac{dS}{dx}$ は短調減少となる。

$x = 1$ のとき $\frac{dS}{dx} = -2\sqrt{2\sqrt{2}-2} + 2 < 0$ なので、 $1 \leq x < \sqrt{2}$ の区間で $\frac{dS}{dx}$ は負となり S は短調減少。

したがって $x = 1$ の時 S の最大となる。

よって S を最大とする x は

$$x = 1$$